

平成 29 年 4 月 18 日

理学・作業療法士の皆様

青年療法士まちづくり塾

塾長：石浜実花

地域で最も有望な療法士を育成する、
「青年療法士まちづくり塾」のご案内



謹啓

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、常日頃より当事業所へのご理解・ご協力を頂き誠にありがとうございます。

高松地域で事業所を開設して7年目になりますが、介護予防からまちづくりまで、もっと理学・作業療法士（以下療法士）の良さを生かした実践がしたいと思っています。そこで、下記の通り青年の療法士を対象に、地域の療法士としての心意気を学び身に着け、制度を超えてフットワーク軽く挑戦・実践していくための塾を昨年より行っています。第1回目は、仏生山町の健康×観光まちづくりをテーマに行いました。写真は、合宿後の活動の一つとして、高松市秋の祭りの大名行列にて、塾長が寝たきり姫となり、寝たきりでも祭りに出れることを塾生や協力者の皆様と証明しました。詳しくは、平成29年4月号より作業療法ジャーナルに連載されているのでご覧ください。

本塾では、自分の長所に磨きをかけ実践したいという人を切に希望します。では、申し込みをお待ちしております。

敬白

記

1. 青年療法士まちづくり塾の目的

・青年療法士の力をもっと地域に還元します。もっと理学・作業療法士の良さを生かした実践があると思うので、心意気を学び・身に着け、制度を超えてフットワーク軽く挑戦・実践していくための塾です。

2. 第2回目合宿のテーマ

・まず第1期生を中心に、第1回目の塾の振り返りを行います。今回の舞台は五色台です。自然豊かでお遍路や外国人の観光も活発な環境です。障害児のアート、外出・旅行リハビリをキーワードに第一線で活動している療法士を招き、講師と共に健康×観光まちづくりについて考えていきます。例えば、五色台地域で、家族がそばに居ないシニアや障害児に対して、外国人のお遍路や農業などの環境因子を生かし互助作用を最大限発揮させた暮らし等についてなどを共に考え、アイデアを障害児の施設などのオーナーである公益財団法人 喝破道場、野田大燈理事長に提案します。

3. 講師

木村 基氏（大阪発達総合療育センター，作業療法士）

白崎翔平氏（外出・旅行リハビリ〜かけがえ〜，代表）

4. プロデュース

石山満夫（相談役・千里津雲台訪問看護ステーション，所長）

鎌田大啓氏（(株)Trape，代表取締役）

5. ファシリテーター

藤本 弾（総合病院回生病院，作業療法士）

津川義弘（NP 西日本ファーマシー株式会社，理学療法士）

田中裕介（穴吹リハビリテーションカレッジ，理学療法士）

仁田憲司（鴨島病院，作業療法士）

6. 日程

平成 29 年 7 月 1 日（土）10:00 から 7 月 2 日（日）14:00 まで

（五色台に移動し合宿し、翌日高松市内で打ち上げ）

7. 集合場所

プライマリケア訪問看護ステーション

8. 対象

40 歳未満の理学・作業療法士，またはその学生

9. 費用

15,000 円（食費・施設使用料・打ち上げ費込み）

10. 定員

20 名

11. 申し込み期限

平成 29 年 6 月 1 日必着。

（6 月 10 日までに参加の可否と詳細についてご連絡致します。）

12. 文献

1) パブロ・エルゲラ（著），アート&ソサイエティ研究センター SEA 研究会（翻訳）：ソーシャリー・エンゲイジド・アート入門 アートが社会と深く関わるための 10 のポイント。フィルムアート社，2015

2) 石浜実花：実践！まちづくり。青年療法士まちづくり塾の挑戦。作業療法ジャーナル。51：320-323，2017（4月号から9月号）

以上

もし、ご興味をもって頂けましたら、下記①～⑨の項目をメール（primarycare@cap.ocn.ne.jp）か fax（087-813-3516）まで申し込み頂けたらと思います。誠に恐れ入りますが定員に達した場合、申込用紙に記入頂いた「参加を希望する理由」が強いと感じた方を優先させていただきます。予めご了承ください。

次の欄に記入のうえ FAX（087-813-3516）

① お名前	② ご所属
③ お電話番号	④ 生年月日
⑤ メールアドレス	⑥ 理学・作業療法の仕事をすすめる中でのモットー
⑦ 参加を希望する理由	
⑧ 自家用車：あり・なし，⑨職種：PT・OT・PTS・OTS	

お問合せ先；プライマリケア訪問看護ステーション内

「第2回 青年療法士まちづくり塾」事務局；石浜

〒760-0080 香川県高松市木太町 1862-9 電話：087-813-3515